

令和２年度進捗評価シート
斑鳩町歴史的風致維持向上計画（平成２６年２月１４日認定）

□進捗評価シート(様式１)

①組織体制(様式１－１)	
１ 歴史まちづくり計画の着実な推進に向けた取り組み	１
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式１－２)	
１ 都市計画の活用(特別用途地区の指定)	２
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式１－３)	
１ 歴史的風致形成建造物修理・修景事業	３
２ 歴史的建造物修景事業	４
３ 案内板等整備事業	５
４ 道路美装化事業	６
５ 電柱類景観改善事業	７
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式１－４)	
１ 文化財の保存・活用	８
２ 文化財の修理・整備	９
３ 文化財の調査	１０
⑤効果・影響等に関する報道(様式１－５)	
⑥その他(効果等)(様式１－６)	

□法定協議会等におけるコメントシート(様式２)	１１
-------------------------	----

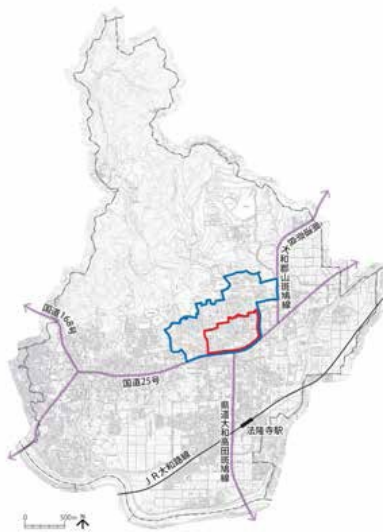
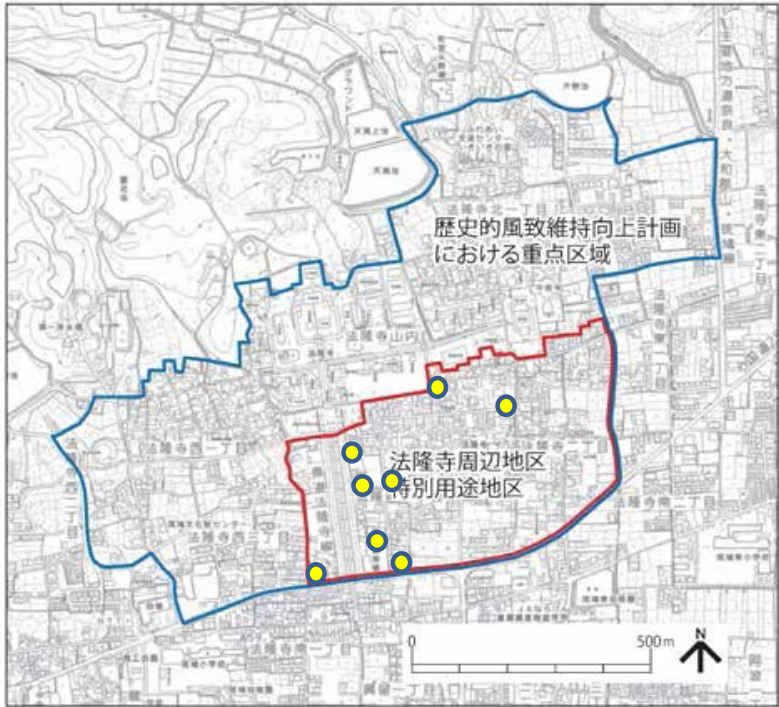
評価軸①-1

組織体制

評価対象年度		令和2年度
項目		現在の状況
歴史まちづくり計画の着実な推進に向けた取り組み		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	庁内においては、計画策定段階の庁内組織を継承・発展させた関係課による推進体制として斑鳩町歴史まちづくり推進調整会議を設置し、文化財部門(教育委員会事務局生涯学習課)とまちづくり部門(都市建設部都市整備課)は、より密度を高めた連絡・調整を行う。また、国・県等の関係機関との協議を行うとともに、適切な支援を得るように努める。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
①本計画の着実な推進に向けて、全庁的な連携を図るため、「斑鳩町歴史的風致維持向上計画における各種事業の実施に向けた実施管理計画の策定に伴う政策企画調整幹事会議、及び政策企画調整員会議をそれぞれ2回実施した。 ②実施管理計画に基づき各事業の進捗管理の共有を図り、着実な事業推進を図った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	掲載事業に限らず広く庁内の連携を取ることが必要である。	
状況を示す写真や資料等		
●第13回 政策企画調整幹事会議・調整員会議 (令和2年5月12～22日:書面開催) 【協議内容】 ・実施管理計画について ・今後のスケジュールについて  ●第14回 政策企画調整幹事会議・調整員会議 (令和2年10月7～16日:書面開催) 【協議内容】 ・実施管理計画について ・今後のスケジュールについて 《政策企画調整幹事会議・調整員会議の様子》 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から書面開催		

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

評価対象年度		令和2年度
項目	現在の状況	
都市計画の活用(特別用途地区の指定)	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	歴史的風致の維持向上のために歴史的建造物の保存・活用や空家・空地等を活用したまちあるき拠点の整備が求められ、そのためには、現行の都市計画の用途の緩和が必要であることから、特別用途地区の適用を検討しており、都市計画の適用については、まちづくり部門(都市建設部都市整備課)が担当する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
平成26年10月1日施行の法隆寺周辺地区特別用途地区内における建築物の制限の緩和に関する条例及び斑鳩町における特別用途地区の区域内における建築行為等に係る事前協議に関する要綱を運用し、当該区域内及びその周辺の良好な住環境との調和を図りながら、歩いて楽しむことができる店舗や飲食店等の立地を促し、もって活力とにぎわいのあるまちづくりを推進している。 令和2年度は、実績なし。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
●地区の名称…法隆寺周辺地区特別用途地区 ●地区の面積…24.9ha ●要綱に基づく事前協議件数 平成26年度 2件 平成27年度 1件 平成28年度 1件 平成29年度 0件 平成30年度 2件 令和元年度 2件 令和2年度 0件		
位置図  拡大図  凡例 要綱に基づく事前協議物件所在位置		

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
		現在の状況	
歴史的風致形成建造物修理・修景事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成27年度～令和5年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	歴史的風致形成建造物として指定を予定している建造物については、順次、その活用とあわせて修理・修景を行う。事業にあたっては、建物調査を行い、伝統的様式の復元を基本として基礎調査をふまえ、それぞれの建物の特色に即した修理・修景を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
斑鳩町まちなか観光景観形成事業補助金を活用し、歴史的風致形成建造物として指定を行う建築物の修景整備を行い、沿道が良好な歴史的景観になり、魅力あるまちあるきができるような環境がすすめる。 令和2年度は、実績なし。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
●活用実績 ・井上家邸 ・辰巳家邸			

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度
歴史的建造物修景事業		現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成27年度～令和5年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 主な歩行者ルートとなるところを中心に、外観の修景整備を行うことで歴史的町並みを整える。合わせて、歴史的町並みの連続性を阻害している建物や塀、空地などについては、歴史的町並みに調和するよう修景を行う。修景にあたっては、策定予定のガイドラインに沿って、自然素材を用いた地域の伝統的デザインを踏襲することを基本とする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

法隆寺周辺地区における建築物や外構に対し、望見可能な前面部分の修景工事に伴う費用の一部を助成し、町並みの連続性を創出している。年間に複数件を継続して修景整備を行っていく。
令和2年度は、実績なし。

進捗状況 ※計画年次との対応

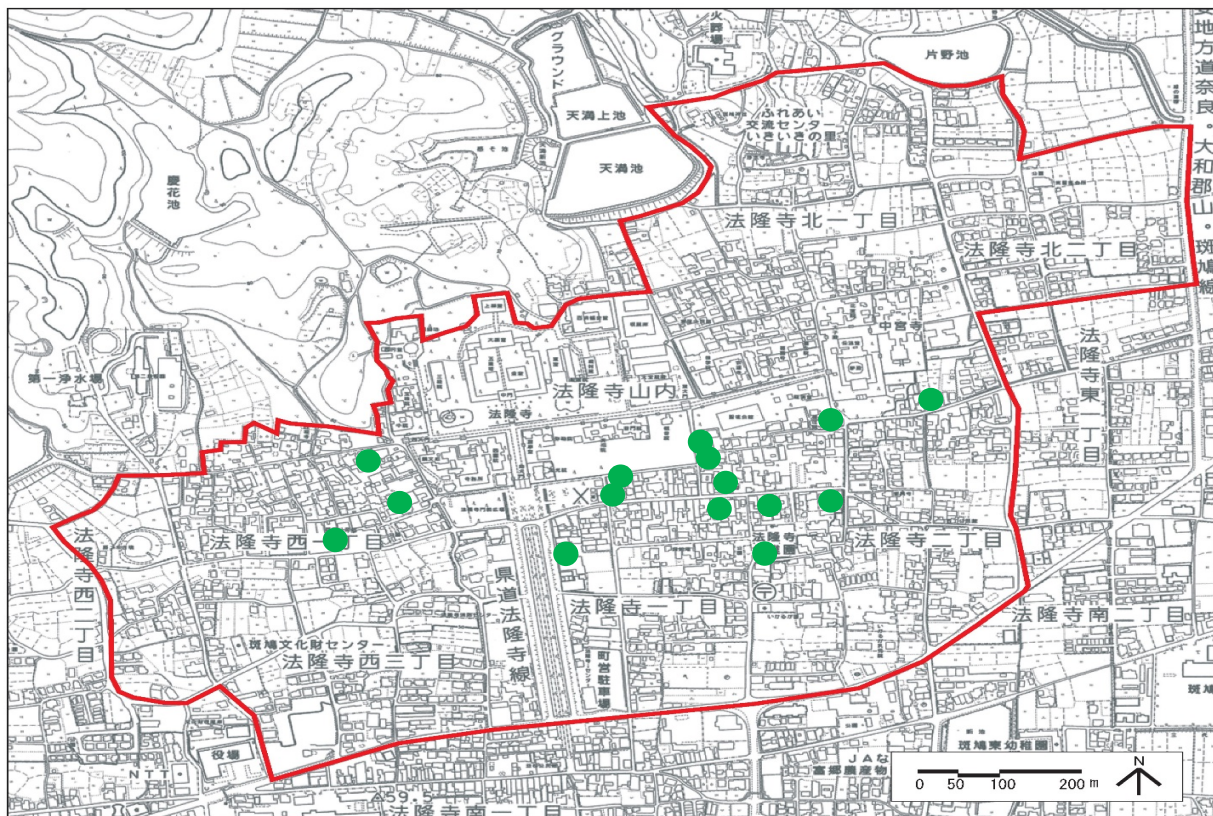
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

●活用実績

平成26年度 1件
平成27年度 5件
平成28年度 4件
平成29年度 3件
平成30年度 1件
令和元年度 1件
令和2年度 0件



評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度
案内板等整備事業		☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成30年度～令和5年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、町単独事業

計画に記載している内容

これまで様々な事業で案内板や案内サインの設置に取り組んできたが、その誘導システムを見直し、これらに加えて、まちあるき観光の誘導に必要な、わかりやすく、歴史的町並みに調和するデザインの案内板、案内サインを設置する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

法隆寺周辺地区の歴史的風致を形成する文化財や観光地として必要な施設等、まちあるき観光を図るための観光案内サインの整備を行っていく。また、観光案内サインについても、町並みに調和したデザインとする。
令和元年度の整備をもって、重点区域内の観光案内サイン整備は完了し、観光客等にわかりやすく、効果的な案内が可能となった。

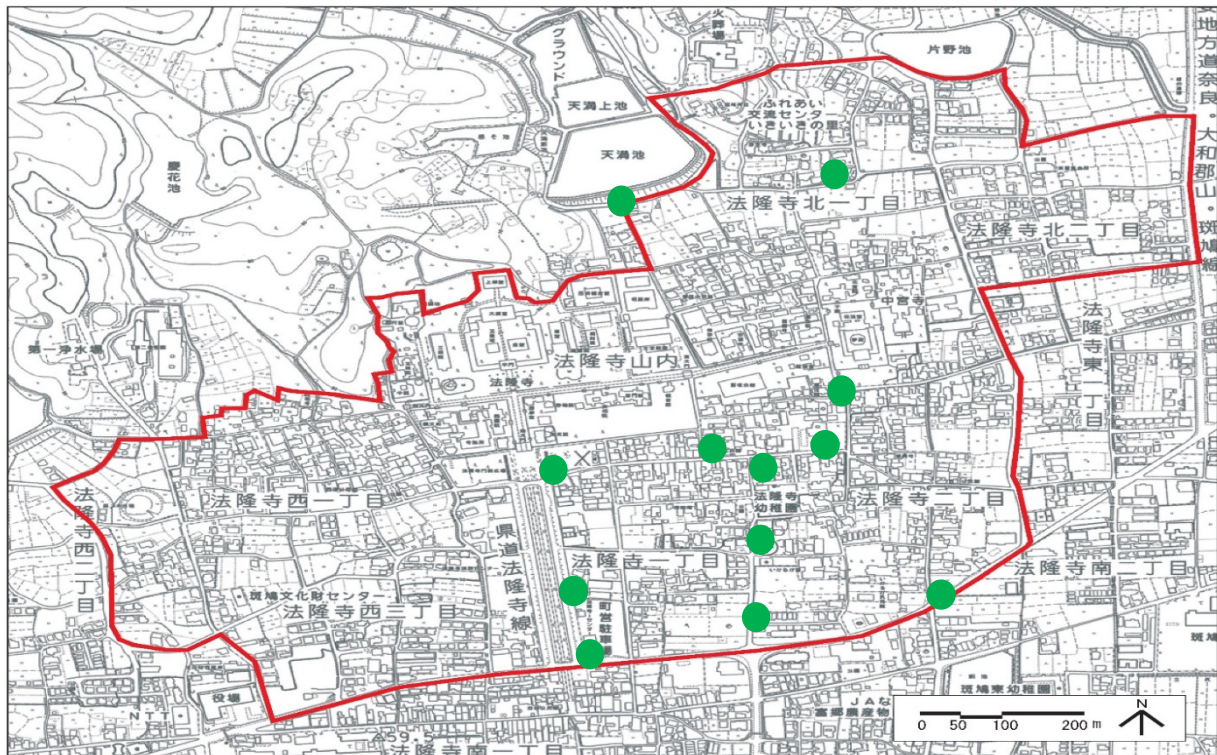
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒ 計画どおり進捗している
☐ 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

●主な整備箇所



評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度
道路美装化事業		現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成28年度～令和5年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載
している内容

法隆寺門前の参道については、歩行者空間が美装化されているが、歴史的町並みの残る集落の道路はアスファルト舗装の車道になっており、連続した歩行者ルートとなっていない。回遊性を高めるため、三町地区に位置する町道202号線をはじめとした、まちあるき観光拠点をめぐるルートについて、舗装の美装化を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

法隆寺周辺地区のまちあるき観光拠点をめぐるルートについて、一体的な歴史的風致を形成するため、道路舗装の美装化を行っていく。
令和2年度は実施なし。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

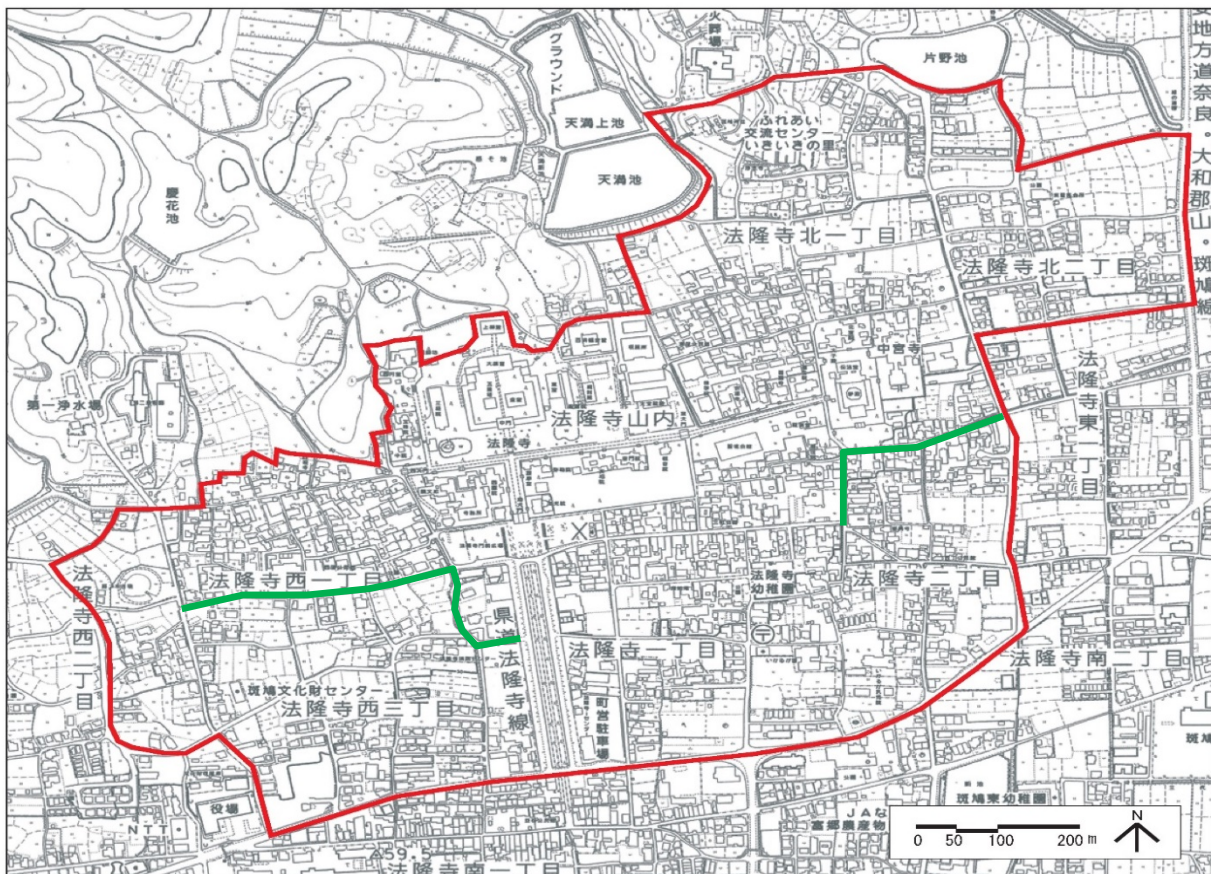
☐計画どおり進捗している
☒計画どおり進捗していない

電柱類景観改善事業にあわせて実施する予定であるが、電柱類景観改善事業の進捗が芳しくない。事業を再検討するとともに、道路美装化を進展させていく。

状況を示す写真や資料等

●施工実績

平成28年度 町道203号線 L=200m
平成29年度 町道204号線 L=185m
平成30年度 町道102号線 L=106m、町道110号線 L=327m
令和元年度 実施なし
令和2年度 実施なし



評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和2年度		
項目		現在の状況		
電柱類景観改善事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手		
事業期間	平成28年度～令和5年度			
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、町単独事業			
計画に記載している内容	無電柱化は歴史的町並みを生かす上で、効果の高い取組みであり、これまでも、重点区域内である西里地区内の2路線で無電柱化を実施した。今後、歴史的佇まいが色濃く残る道路(町道202、218号線など)を中心に、それぞれの路線に応じた工法を検討し、無電柱化等電柱類の景観改善を行う。			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で				
法隆寺周辺地区のまちあるき観光拠点をめぐるルートについて、一体的な歴史的風致を形成するため、電柱類景観改善事業を行っていく。 令和2年度は、実績なし				
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	電線事業者との協議が難航しており、電柱類景観改善事業の進捗が芳しくない。効果的・効率的に事業をすすめるため、事業を再検討を行う。			
状況を示す写真や資料等				
●実施実績 平成29年 三町地区無電柱化整備に向けた電柱類改善事業検討業務委託				

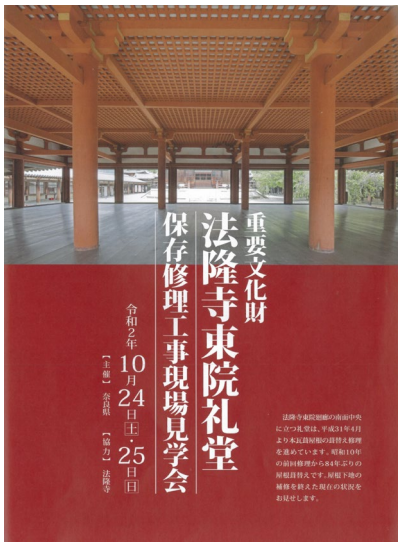
評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和2年度
項目		現在の状況
文化財の保存・活用		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	斑鳩町は、法隆寺等で構成される世界文化遺産を中心に、全国的にみても重要な文化財が保存され、継承されてきた。こうした歴史的・文化的資源を、地域に暮らす人々とともに再認識し再評価することによって、世界文化遺産と一体となった歴史的風致として保存・活用する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
◆文化財の普及・啓発などを実施し、文化財に触れ合う機会を創出することにより、歴史的風致の保存・活用につながった。 ・史跡藤ノ木古墳石室特別公開の開催 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ・斑鳩文化財センター(利用人数:人/年)における展示会の開催 ①春季企画展 「知られざる斑鳩の古墳 ー斑鳩の古墳展②ー」 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ②秋季特別展「聖徳太子の足跡 ー斑鳩宮と斑鳩寺ー」(2,545人/44日) 開催期間:令和2年10月17日(土)～11月29日(日) ・講演会・講座の開催 秋季特別展開催に伴う歴史講演会(100人) ・講座・教室等の開催 ①「こども考古学教室」(全1回) 1. こども勾玉づくり教室 ②「斑鳩考古学講座」(全1回) 1. 斑鳩考古学検定 ・文化財資料図書の刊行 ①秋季特別展展示図録 ②『斑鳩文化財センター年報 第10号』 ③『斑鳩町内遺跡発掘調査概報 平成30・令和元年度(2019)』 ・県立法隆寺国際高校による藤ノ木古墳石室特別公開のボランティア活動 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ・文化財の保存・活用に関わる住民や各種団体によるボランティア活動 ①法隆寺等における観光ガイド ②斑鳩文化財センターにおける受付(※解説は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施せず) ③藤ノ木古墳の除草作業や中宮寺跡の植栽などのボランティア活動 ◆文化財の防犯体制を周知し、防犯体制を整えた。 文化財の防犯体制の徹底についての通知文書を指定文化財の所有者または管理者に渡すとともに、日常管理や防犯体制について再確認いただくよう依頼した。併せて、何か異常等がある場合、教育委員会に連絡するよう依頼した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	引き続き、文化財の普及・啓発に関する事業を推進して行く。	
状況を示す写真や資料等		
		
斑鳩文化財センター展示会(常設展)	秋季特別展開催に伴う歴史講演会	こども考古学教室(勾玉づくり教室)
		
斑鳩考古学講座(斑鳩考古学検定)	史跡藤ノ木古墳ボランティア活動	史跡中宮寺跡ボランティア活動

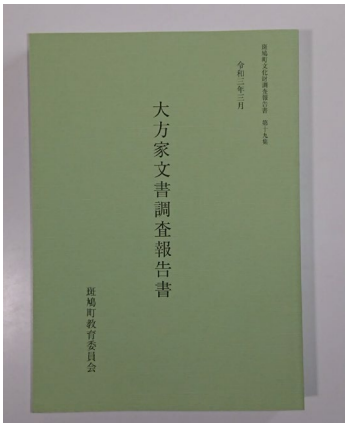
評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和2年度
項目	現在の状況	
文化財の修理・整備	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	斑鳩町は、法隆寺等で構成される世界文化遺産を中心に、全国的にみても重要な文化財が保存され、継承されてきた。こうした歴史的・文化的資源を、地域に暮らす人々とともに再認識し再評価することによって、世界文化遺産と一体となった歴史的風致として保存・活用する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
○文化財の修理・整備・など ・法隆寺内の東院礼堂の保存(維持)修理工事の実施 ・法隆寺等における文化財防火デー防火訓練の実施など 文化財の補修・修理を行うことで、後世に受け継いでいくことができ、歴史的風致として保存・活用ができた。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	引き続き、文化財の修理・整備に関する事業を推進して行く。	
状況を示す写真や資料等		
 重要文化財 法隆寺東院礼堂 保存修理工事現場見学会 令和2年 10月24日(土)・25日(日) 【主催】奈良県 斑鳩町 法隆寺 法隆寺東院礼堂の内部の奥に立つ瓦葺は、平成11年よりより本瓦葺の復元と修理を進めています。昭和10年の創建以来から本瓦葺の屋根が特徴です。屋根下地の損傷を除去した現在の状況を撮影します。  文化財防火デー防火演習 法隆寺東院礼堂の保存(維持)修理工事 (※保存修理工事現場見学会 チラシ) 文化財防火デー防火演習		

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
		現在の状況	
文化財の調査		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	斑鳩町は、法隆寺等で構成される世界文化遺産を中心に、全国的にみても重要な文化財が保存され、継承されてきた。こうした歴史的・文化的資源を、地域に暮らす人々とともに再認識し再評価することによって、世界文化遺産と一体となった歴史的風致として保存・活用する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○文化財の調査など ・町内遺跡(中宮寺跡周辺遺跡)における発掘調査の実施 ・国庫補助事業の調査として、中宮寺跡周辺遺跡における内容確認調査の実施 ・国庫補助事業の調査として、大方家文書調査の実施 ・町指定文化財候補の調査として、春日古墳の墳丘内含水量測定調査の実施 ・甲塚古墳の発掘調査における奈良大学との共同調査の実施 文化財の調査を行うことで、歴史的・文化的資源の調査・保存・活用につながった。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		引き続き、文化財の調査に関する事業を推進して行く。	
状況を示す写真や資料等			
令和2年度調査等写真			
			
町内遺跡発掘調査(中宮寺跡周辺遺跡)		中宮寺跡周辺遺跡内における範囲確認調査	
			
大方家文書調査報告書		奈良大学との共同調査(甲塚古墳)	

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和2年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:斑鳩町歴史まちづくり推進協議会	
会議等の開催日時:令和3年3月30日	
(1)スタートした際には、何もなかったエリアに、13か月で飲食店が5店舗出店されるなど、ハード面での整備がすすんでいる。また、ハード整備だけでなく、着地型観光につながる体験プログラムも用意されており、ソフト面でも取組みがすすんでいる。 (2)斑鳩町、商工会、観光協会、DMOの斑鳩産業の4者による斑鳩版るるぶを作成し、竜田揚げや斑鳩ブランド協議会の認定商品などを掲載することで、斑鳩町の観光まちづくりにつながるPRがはかられている。 (3)民泊のオープンなど、ホテルや宿坊に並んで民泊という選択肢が、空家活用のなかで可能性が見いだせるのではないかと。また、ホテルなどの拠点整備と体験やお土産物などのコンテンツを組み合わせることで旅行商品となり、WEST NARA宿泊・日帰り旅という6タイプの旅行商品を用意し、観光客の誘客につながる事業をすすめていきたい。 (4)行政による事業だけでなく、民間による事業が、行政の事業とリンクして、協働のまちづくりがすすんでいる。 (5)歴史的建造物などの修繕・修景事業をすすめているが、金銭的な面もあるなかで、町として残していく建物を、申し出を待つのではなく、町から積極的に取り組んでほしい。 (6)まちの散策のなかでカフェの立地や景観が変わっていることを喜ばれている声を聞く。 (7)飲食だけでなく、いろんなものが少しずつ存在するため、観光サインやマップなど上手に利用しながら歩いてもらうなどいい方向に進行していると思う。 (8)電柱の景観改善事業については、費用負担の調整で協議が難航しているが、低コスト化の技術がすすんでおり、長い距離でもないことから積極的にすすめてほしい。 (9)マルシェ・宿泊施設は、単なる宿泊施設ではなく、地域の農業や食などと連携できる、新しい観光拠点になると思うので、上手にすすめてほしい。	
(今後の対応方針) ・効率的・効果的に事業をすすめるため、電柱類景観改善事業を再検討のうえ、道路美装化事業を進展させていく。 ・建物等の修景にあたっては地域特性に十分配慮していく。	